

田無第三中学校の建替えコンセプトの実現に向けた教育環境について

建替えコンセプト	対応策	想定される教育環境	敷地内の施設配置や施設内のゾーニングに関する留意事項	
			田無第三中学校敷地	西原総合教育施設敷地
① 安全性を兼ね備えた地域に開かれた学校づくり	安心安全な教育活動とともに災害時の避難所機能を考慮した防犯・防災対策	・安全性の高い通学路の確保	・交通量が少ない敷地北側での正門の設置 ・敷地南側での正門の設置の場合、鎌倉街道の交通量が多いため、敷地内における歩行空間の整備などの対応策を実施	・歩道の整備状況を踏まえ、なかよし通り沿いに正門を設置
		・校門への電子錠の導入、防犯カメラの設置など	・防犯性を高めるため、普通教室(特別支援学級を含む)を2階以上4階以下に配置し、1階には職員室等の管理諸室を配置 ・屋外各部及び建物内の共用部分等における死角をなくし、周囲からの見通しを確保した上で、視認性を高める	・防犯性を高めるため、普通教室(特別支援学級を含む)を2階以上4階以下に配置し、1階には職員室等の管理諸室を配置 ・屋外各部及び建物内の共用部分等における死角をなくし、周囲からの見通しを確保した上で、視認性を高める ・西原自然公園からの人間、動物の侵入に対する視認性を高める
		・堅固な建物整備や避難生活を考慮した規模・設備等の体育館や家庭科室の整備	・避難所機能を踏まえて体育館や家庭科室(調理室)を1階に配置するとともに、避難生活と学校活動を両立させるため、普通教室(特別支援学級を含む)は2階以上に配置	・避難所機能を踏まえて体育館や家庭科室(調理室)を1階に配置するとともに、避難生活と学校活動を両立させるため、普通教室(特別支援学級を含む)は2階以上に配置
	学校施設と複合施設の連続性に配慮したゾーニングとセキュリティ対策	・学校施設と複合施設の同一建物内での整備	特になし	・UR敷地(保育園・児童館)に整備する施設とのつながりを考慮して、敷地内の南側で施設整備
		・地域利用部分や複合施設部分から教室への動線の分断措置	・地域利用部分や複合施設部分を施設内でまとめて配置した上で、普通教室等への施設利用者の動線をシャッター等により制限	・地域利用部分や複合施設部分を施設内でまとめて配置した上で、普通教室等への施設利用者の動線をシャッター等により制限
		・生徒の安全・安心を確保しつつも、地域とのつながりを感じられる施設内のゾーニング	特になし	・UR敷地(保育園・児童館)を含めた敷地ごとに学校施設及び複合施設を一体的に整備
多様性を受け止めるユニバーサルデザインの施設設計	・段差解消や手すりの設置、バリアフリートイレやエレベーターなどの整備 ・わかりやすいサイン表示(ピクトグラムの採用)	特になし	特になし	
② 時代のニーズに応じた多様な学びができる学校づくり	横断的な学習を可能とする情報メディアセンターの構築と特別教室の有効活用	・十分な開架・閉架スペースや閲覧・学習スペースのほか、視聴覚機能や検索機能(コンピューター)が確保された学校図書館の整備 ・普通教室やその他の特別教室からのアクセス性を考慮した場所への学校図書館の整備	・機能性向上のため、施設内動線の中心に学校図書館を配置	・機能性向上のため、西原総合教育施設敷地に整備する施設内動線の中心に学校図書館を配置
	デジタルを活用した教育の推進に向けたネットワーク環境などの整備	・校内におけるWi-Fi環境の整備とモニターなどタブレット端末の有効活用のための周辺機器の設置 ・教科書、ノートとタブレット端末の同時使用が可能となる大きさの机の導入と普通教室の広さの確保	特になし	特になし

建替えコンセプト	対応策	想定される教育環境	敷地内の施設配置や施設内のゾーニングに関する留意事項	
			田無第三中学校敷地	西原総合教育施設敷地
② 時代のニーズに応じた多様な学びができる学校づくり	個別最適で協働的な学びを支える柔軟な学習空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> 習熟度に応じた学習のための少人数教室の整備 多様な学習内容・学習形態に対応するための多目的スペースの整備(普通教室の附属スペース) 	<ul style="list-style-type: none"> 一体的な活用のため、普通教室と少人数教室、多目的スペースを学年ごとにまとめて別フロアに配置 	<ul style="list-style-type: none"> 一体的な活用のため、普通教室と少人数教室、多目的スペースを学年ごとにまとめて別フロアに配置
	部活動と地域利用を考慮した体育館とグラウンドの整備	<ul style="list-style-type: none"> 多様なスポーツ、武道や運動が楽しめる規模や設備が整った体育館や武道場等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 200mトラックとサッカーコート確保のため、グラウンドを敷地内の北側もしくは南側に配置 武道場やプールは2階以上での設置も可 	<ul style="list-style-type: none"> 200mトラックとサッカーコート確保とともに、UR敷地(保育園・児童館)に整備する施設とのつながりを踏まえ、グラウンドを敷地内の西側に配置 武道場やプールは2階以上での設置も可
		<ul style="list-style-type: none"> 排水性、土埃や積雪・霜害への物理特性のほか、転倒時の安全性、スパイクシューズ使用等の競技適応性を考慮したグラウンドの舗装 	<ul style="list-style-type: none"> グラウンドを北側に配置する場合、改良土や人工芝、ゴムチップ系で舗装 	特になし
③ 同世代や世代間のふれあいを創出する学校づくり	学年を超えた柔軟な生徒の交流を可能にする教室外空間のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間や放課後の交流、生徒の主体的・協働的な自治活動など多様な用途で利用できる commons の設置 特別支援学級と通常学級との交流を視野に入れた教室配置 	特になし	特になし
	学校活動の見える化と地域からの情報発信を考慮した施設設計	<ul style="list-style-type: none"> 学校内の地域利用部分における掲示板や展示スペースなどの設置 	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉街道に面する建物外観の開放性を考慮した設計 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地外周に面する建物外観の開放性を考慮した設計
	学校や地域のイベントで活用可能な多世代交流を促進する共有スペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> 屋内外における学校と地域の共同利用スペースの設置 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内外の共有スペースは連続性を考慮して配置 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外共有スペースは周囲の緑地・遊歩道との連続性を活かした位置に配置 屋内外の共有スペースは連続性を考慮して配置
④ 環境を考慮した快適な学校づくり	地球温暖化や気候変動への対応に貢献する環境を考慮したエコスクール	<ul style="list-style-type: none"> 雨水利用、LED照明の導入や断熱化などの省エネルギーの取組 太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの活用 断熱性や調湿性に優れた木材利用(学校施設の木質化) 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化と外構計画により周辺地域のグリーンインフラとして計画 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の緑地を活かしたパッシブデザインの導入
	先進的で居住性・機能性・メンテナンス性に優れた施設設計	<ul style="list-style-type: none"> 空調、換気、遮音や採光等に配慮した快適な空間の整備 効率的な移動経路に配慮した教室配置 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 機能性確保のため、学校施設部分は4階以下に配置 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 機能性確保のため、学校施設部分は4階以下に配置 UR敷地(保育園・児童館)とあわせて学校施設が2つの敷地となるため、連絡通路の設置といった対応策を実施
	西原の自然を活かした多様な憩い・安らぎの場の確保	<ul style="list-style-type: none"> 自然に囲まれた屋外休憩スペースや窓から自然が見える屋内空間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地周辺には自然や公園等が少ないことから、敷地内での緑化などの代替策を実施 	特になし